

3つの機能で多角的にサポートします。

当事者本人の地域生活をうっすら支援とつながり続けられる安心アプリ

機能 1 生活チェック

チェック機能

■ 当事者セルフチェック

自分の状態を自分で把握していくことで、安定した日常生活を作り出せます。

- 自分の状態を自分でチェックできます。
- 自分の状態の変化を自分で確認できます。

■ 支援者チェック

支援者が当事者の支援課題に気づくことができます。

- 当事者本人からの情報を客観的に状態把握できます。
- 客観的な独り暮らしできる状態像の基準で、評価することが可能で公的な支援につなげやすい。

■ クロスグラフ

分布解析で支援課題の優先度に気づくことができます。

- 優先すべき課題を視覚的に分析でき、取り組み課題の全体像が把握しやすい。

状態像の把握 ⇒ 見える化 ⇒ データの共有と支援の構築

当事者本人とともに支援者(あるいは家族)が評価していくことで客観的に状態像を把握し、メンタルヘルスの安定や地域での安定した日常生活作りにつなげます。

●生活チェックのレーダーチャート
生活スキルや、メンタル、適応行動のセルフチェックができます。このグラフを支援者に見せることも可能。

●クロスグラフ
困り度合いに気づけるグラフで、できていることはそのまま維持し、優先すべき課題を一覧することができます。

各種オンライン機能

オンラインでのビデオチャット相談やオンライン関係者会議、当事者本人からのヘルプ通知のためのメッセージ送信等ができます。

■ ビデオチャット相談

就労して来談できない場合等でも、アプリ上でオンラインでビデオチャットができます。

- 相談内容をアプリ上に記録できます。

■ 関係者会議

- 当事者本人・家族、支援者が同時に相談できます。(同時に4人まで利用可能)

■ メッセージ機能

- 当事者本人からの緊急相談要請、支援者からの呼び出し通知等が可能。

機能 2 イベント・つながりづくり

地域でもオンラインでも、自分が興味あるイベントに気軽に参加でき、そこで共通の興味の間を見つけられます。

■ 地域のイベントへの参加

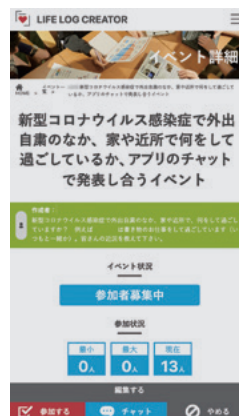
- 地域のイベントに参加する形で、地域の人たちや支援者、当事者本人同士での活動が見つかります。
- チャットで意見交換ができ、活動をさらに楽しむことができます。

■ オンラインイベントで興味・関心の合う仲間を見つける

- オンラインのイベントで共通の関心のある仲間を見つけ、いろいろな意見交換をアプリのチャット上でできます。

■ イベントへの安全な参加

- トラブルが生じそうな場合、支援者に知らせることで早めに対応がなされ、トラブルへの対応ができて、安心して参加ができます。



● イベントのトップページ



● チャットの一例

機能 3 支援者の相談・支援事業のサポート

支援者の相談に関してスーパーバイズや支援プラン構築の助言などの相談サポートや、アプリでの状態像の把握結果や相談経過などを外部出力することができます(現在、準備中)。

■ 支援者の相談・支援のサポート(要予約)

- アプリのビデオチャット機能を利用したスーパーバイズや支援プラン作りの助言などが可能です。

■ 生活チェックや相談・支援内容の外部出力

- 当事者の状態像の把握や相談・支援内容について、外部出力を行い、事業所等の記録に追加していくことができます(現在、準備中)。

お問い合わせ先

アプリの利用について ●中京大学 現代社会学部 辻井正次研究室・工学部 曾我部哲也研究室 <https://life-log.org/>
アプリを活用後の支援に関わる相談について ●NPO法人アスペ・エルデの会 lifelogkanri@as-japan.jp

RISTEX

安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築プロジェクト

中京大学 辻井正次PJ「アプリを活用した発達障害青年成人の生活支援モデルの確立」